

大塚ホールディングス株式会社 2011年度 第3四半期

質疑応答要旨

日：2012年2月10日

Q1: R&D費用について、計画から計算すると単純にあと500億円ほど残っているが、使い切るのか？

A1: プロジェクトの前倒し、現在プロジェクトの加速を含めて予定通り使う。

Q2: 米国アルカメス社がアリピプラゾールのデポ剤を開発し、データを発表している。大塚のIMデポの詳細データ発表時期はいつか？

A2: 予定通り2012年5月に発表する。他社の事は言う立場にないが、アルカメスのデポ製品は、プロドラッグであるため、FDAの判断は分からないが、我々としてはフルディベロプメントが必要だと理解している。

Q3: ニュートラシューティカルズ事業については、第4四半期も黒字達成できそうか？

A3: ニュートラシューティカルズ事業については、第4四半期は若干マイナスの可能性はあるが、今期目標としている営業利益8%を達成できる見込み。

Q4: シムジアの契約終了を先日発表したけど、オングリザ(サキサグリプチン)についての今後の予定は？大塚で販売するのか？

A4: 今年度中、もしくは遅れても大きくはずれずに申請する予定である。販売についても現在では行う予定。

Q5: OTS102の結果はいつ出るのか？

A5: OTS社の発表では、3月に結果がでる予定。

Q6: がん領域で日本以外の製品があまりない。上場時にはボルトオンのディールをしようと言っていたが、予定はどうか？

A6: 良い製品があれば、ディールを希望するが、この領域はなかなかいい製品が見つからない。出来るだけ早くディールに結びつけられればと思う。

Q7: RD費用について、現在のプロジェクトを加速することだが、具体的にはどのプロジェクトで、どの位短縮するのか。

A7: 加速されるプロジェクトとしては、IMデポの欧州と日本での開発とOPC-34712の複数適応症でのグローバル開発。どの位短縮するのかという件については、お答えできない。

Q8: ニュートラシューティカルズ事業について、販売促進費、広告宣伝費が減っているが、為替影響での減はどのくらいか。

A8: 殆どない。

Q9: RD費用のドル、ユーロ、日本円の構成比

A9: 海外が費用の約半分で、海外については、殆どがドルである。

Q10: アブラキサンの売上が若干弱いようであるが、サノフィのワンタキソテール(2011年7月発売)の影響か？ 乳がんのファーストラインであるのに、売上が伸びていないが。

A10: アブラキサンについては、現在の使用法は乳がん後期(再発性乳がん・進行性乳がん)のみなので、肺がん、胃がんの適応が取れれば広がる。ジェネリックの圧力もあるが、伸びが悪い事も事実である。

Q11: 米国ABILIFYが1月の処方箋の伸びが若干弱いようである。今後の伸びについての期待値はどのくらいか？

A11: 2012年度の計画については、本決算の際に言及させていただくが、足元の状況としては、1月は流通在庫の影響により、若干弱い事は事実。ただ、昨年10月からペイヤー契約も増えており、まだ伸長すると考えている

Q12: 米国ABILIFYの特許訴訟の現状はどうか？

A12: 2月6日に控訴審が行われた。従来通り、自信はある。今夏くらいには結果が出ると考えている。

Q13: 配当について。予定の45円から引き上げるのか？

A13: 従来方針に変更なし。通期決算を踏まえて検討する。

Q14: サキサグリプチンについて国内申請はいつ頃か。また、DPP4市場については競合品があるが、どう考えているか。

A14: 申請目標は今年度中で、ずれても大きくはずれない。メルクのジャヌビアが伸びており、武田も苦勞している。市場での努力はかなり必要だと考えている。差別化についてはお答えできない。

Q15: ABILIFYについて、ジプレキサの特許切れの影響は？

A15: 処方箋ベースでは統合失調症へは若干影響があるようだが、全体で見ると大きく影響はしていない。ジプレキサの特許満了について今後も影響はほとんどないと考えている。しかし、今年3月のセロクエルの特許満了については、同薬がABILIFYと処方傾向が似ていることから、影響があると見ている。また、ジェネリックが出ることにより、新規患者への処方制限、値引きも影響すると考える。

Q16: ペイヤーとのコントラクトが増えているということだが、詳細を教えて欲しい。3月以降、ジェネリックとの比較で支払いサイトへの影響があるということだが、詳細を教えて欲しい。

A16: 契約の数が増えて、2nd tierが若干増えている。支払いサイトがジェネリックを先に使うように指示を出してくる可能性もあるので、これからの交渉次第であると考えている。注意して見ていきたい。

Q17: デラマニドの欧州申請というのと、日米欧で進んでいるP3は違うのか？ また、マーケティング戦略についても教えて欲しい。

A17: 欧州はP2b試験結果が良かったため、当局から申請を指示され、申請した。このP2b試験はプラセボと200mg、400mg、一日二回で実施した。現在進めているP3試験はグローバル試験。プラセボと200mg、一日二回→一日一回で行っている。販売政策については、現在非公表。